



7月2日午後、この日は、教育委員会に職場体験に来ている西川君と一緒にモデル校へ出かけ、CSディレクターさんの近況をうかがってきました。ちなみに、西川君には、写真撮影を担当してもらいました。



### 相良中

吉永 CS ディレクターさんは、昨年度まで相良中学校に勤務していたこともあり、子どもたちからの信頼も厚く、時には授業支援にも顔を出しているようです。午後1時15分ごろ相良中学校にうかがうと、生徒と一緒に清掃をしていました。今後、相良中のホームページを受け持ち、子どもたちの活動の様子をアップしてくれるようです。このことで、生徒の様子が地域の方々に今まで以上に増えてくるのがねらいです。そのために、パソコンを修理し、市への申請も行い準備が着々と整い始めたところですよ。相中生は、行事はもちろん、授業、清掃、集会、生徒会活動など生徒自身で高い意識をもって生活している様子が伝わると中学生の力が地域に見えてくるのではないのでしょうか。楽しみです。また、CSの部屋が場所は決まりましたが、まだ整備できていないので、もっぱら職員室で仕事をしています。先日、総合的な学習(輝講座)の講師として、学校支援本部の八木順子さんをおして、手話の講師を学校につなげるというコーディネートを行ってくれました。今年、「運営協議会の方々に相良中学校を知ってもらうこと」を目標に動き始めています。焦らず、運営協議会の中から「できること」「かかわってみよう」という思いが出てくるといいですね。じわじわといきましょう。よろしくお願いします。



### 萩間小



萩間小学校コミュニティルーム「ちよっくら」にうかがうと、ちょうど、CSディレクターの坪池さんと運営協議会のメンバー中田さんがお話をしているところでした。坪池さんに近況をうかがうと、地域の方々と活動が充実している萩間小学校だけあって、いつも元気な坪池さんが「さすがに6月は少し疲れましたね。」と一言。中田さんから「萩間小学校は田植えにしろ、塩づくりにしろ、見事に天候に恵まれ中止になった活動がなかったもんね。」とのことでした。立ち上がった運営協議会は、「現在行われている活動に、さらに新たな地域の方に参加してもらいたい。若かろうが高齢であろうが関係なく関わる人を増やしたい。」という思いの様です。地域全体が生き生きしてきそう、「学校を核とした地域づくり」「子どもたちが地域の方々に生きがいをもたらす幸せ配達人」なんて言葉が私の頭をよぎりました。坪池 CS ディレクターさんのハツラツとしたコーディネートがこれからも続くように、頑張りすぎないようにお願いします。(ホワイトボードには、活動予定がいっぱいですが…)それから、萩間小の場合、運営協議会のメンバーでもあるスクールサポートスタッフの永田さんの創造性、行動力、DIYの高さが活動を盛り上げていると私は感じています。



### 勝間田小



鈴木 CS ディレクターさんがお見えになる前に、勝間田小学校のコミュニティルームにおじゃましました。一息つくこうとすると、通学バスを待っている3人の児童(1年生)が、私に「コマのまわし方」を教えに来ました。コマ回しができるようになった彼らは、本当に生き生きしてびっくり。まさに活力を感じました。そんなやり取りののち、「スズッキー」登場。うれしいことに、メロンゼリーのスイーツをもって来てくれました。(私には、商品にしていけないと思うほどおいしかったのですが、職人の鈴木さんには、「こんなのは、ちょっとゼリーにただけだから」と職人氣質の一言でした。)鈴木さんの場合には、既に CS 通信も発信しており(現在 No.15 が発行)、その通信でもわかることですが、「歴史と文化のふるさと勝間田とともにある学校」を目指して、故郷にいる鳥や虫を子どもたちに教えたり、勝間田川の水質調査の講師として4年生の授業に入って自ら活動したりしてくれています。また、校長の願いでもあった登下校の見守りを行ってくれる方もコーディネートしてくれました。鈴木さんとお話をして、先生方も子どもたちも鈴木さんの存在を理解してくれ、より積極的に子どもたちと関わるできるようになってきたようでした。(CS 通信は、勝間田小学校のホームページに「CS のページ」がつくられ掲載されるようになりました。)

